

第2次計画と第3次計画の施策体系の比較

元気じゃけんひろしま21(第2次)

- **基本理念** 市民一人一人が、生涯を通じて心身ともに健康で自立した生活を送ることができる「まち」の実現
- **基本目標** 健康寿命の延伸

基本方針① 生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組みます

がん ○がんに関する知識の普及啓発 ○がんの早期発見・重症化予防	循環器疾患 ○循環器疾患に関する知識の普及啓発 ○高血圧・脂質異常の早期発見・重症化予防	糖尿病 ○糖尿病に関する知識の普及啓発 ○糖尿病の早期発見・重症化予防	COPD(タバコ肺) ○COPDに関する知識の普及啓発 ○COPDの早期発見・重症化予防
---	---	--	---

基本方針② ライフステージに応じた健康づくりに取り組みます

次世代の健康 ○子どもと親の健康づくり ○子どもの健康を支える環境づくり	働く世代の健康 ○生活習慣病を予防するための健康づくり ○働く世代の健康を支える環境づくり	高齢世代の健康 ○健康づくりと介護予防 ○いきいきとしたセカンドライフを送るための環境づくり
---	--	---

基本方針③ 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備に取り組みます

市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり	健康づくりに関する団体・機関等との連携の強化	生活環境の保全など様々な分野との連携
-----------------------	------------------------	--------------------



基本方針を実現するために取り組む生活習慣等に関わる分野ごとの施策

栄養・食生活	身体活動・運動	休養・メンタルヘルス	喫煙	飲酒	歯と口の健康
--------	---------	------------	----	----	--------

健康づくりの基本要素である「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・メンタルヘルス」、「喫煙」、「飲酒」、「歯と口の健康」の6つの分野に関して、個人の生活習慣の改善等に取り組みます。

元気じゃけんひろしま21(第3次)

- **基本理念** 市民一人一人が、生涯を通じて心身ともに健康で自立した生活を送ることができる「まち」の実現
- **基本目標** 健康寿命の延伸

基本方針① 生活習慣の改善と生活習慣病等の発症予防・重症化予防に取り組みます

栄養・食生活 ○生涯にわたる健全な食生活の推進	身体活動・運動 ○身体活動や運動量の増加 ○運動習慣の確立・定着	休養・睡眠 ○より良い睡眠習慣の確立・定着
飲酒 ○適切な飲酒に関する知識の普及啓発 ○20歳未満の者の飲酒防止対策の推進	喫煙 ○喫煙率の減少に向けた取組 ○20歳未満の者の喫煙防止対策の推進	歯・口腔の健康 ○歯科疾患の予防と早期発見に向けた取組 ○口腔機能の維持・向上対策の推進
健診・検診 ○受診行動の定着に向けた取組の推進	生活習慣病等の理解 ○生活習慣病等の知識の普及啓発 ○がん、循環器疾患、糖尿病、COPD(タバコ肺)等の予防の推進	

基本方針② 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備に取り組みます

○市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

- ・地域とのつながりの強化に向けた取組
- ・市民の健康づくりを支援する人材育成の推進

○企業・団体等多様な主体による健康づくり

- ・健全な食生活を支援する食環境づくり
- ・身体活動や運動に取り組みやすい環境づくり
- ・職場におけるメンタルヘルス対策の推進
- ・受動喫煙防止対策の推進
- ・健康経営に取り組む企業を増やす環境整備
- ・ICTの活用等の推進

基本方針を実現するための視点

ライフステージに応じた健康づくり

次世代の健康 ○子どもと親(妊婦を含む)の健康づくり ○子どもの健康を支える環境づくり	働く世代の健康 ○生活習慣病を予防するための健康づくり ○働く世代の健康を支える環境づくり	高齢世代の健康 ○健康づくりとフレイル予防 ○住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための環境づくり
--	--	---

○自然に健康になれる環境づくり

○ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

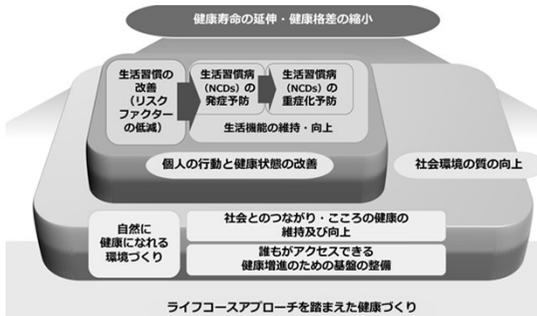
国計画「健康日本21(第三次)」(令和6年度~令和17年度)

〈ビジョン〉全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現

〈最終目標〉健康寿命の延伸と健康格差の縮小

〈基本的な方向性〉

- ① 個人の行動と健康状態の改善
- ② 社会環境の質の向上
- ③ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり



〈新たな視点〉

- ① **自然に健康になれる環境づくり**
健康に関心の薄い人を含め、本人が無理なく健康な行動をとれるような環境づくりを推進する。
- ② **ライフコースアプローチ**
現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性があることや、次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があるものであり、人の生涯を経時的に捉えた健康づくり(ライフコースアプローチ)の観点を取り入れる。
特に女性については、ライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化するという特性等を踏まえ、人生の各段階における健康課題の解決を図ることが重要である。
- ③ **多様な主体による連携及び協力**
地域の関係者や民間部門、他省庁を巻き込んだ健康づくりの取組をさらに推進する。